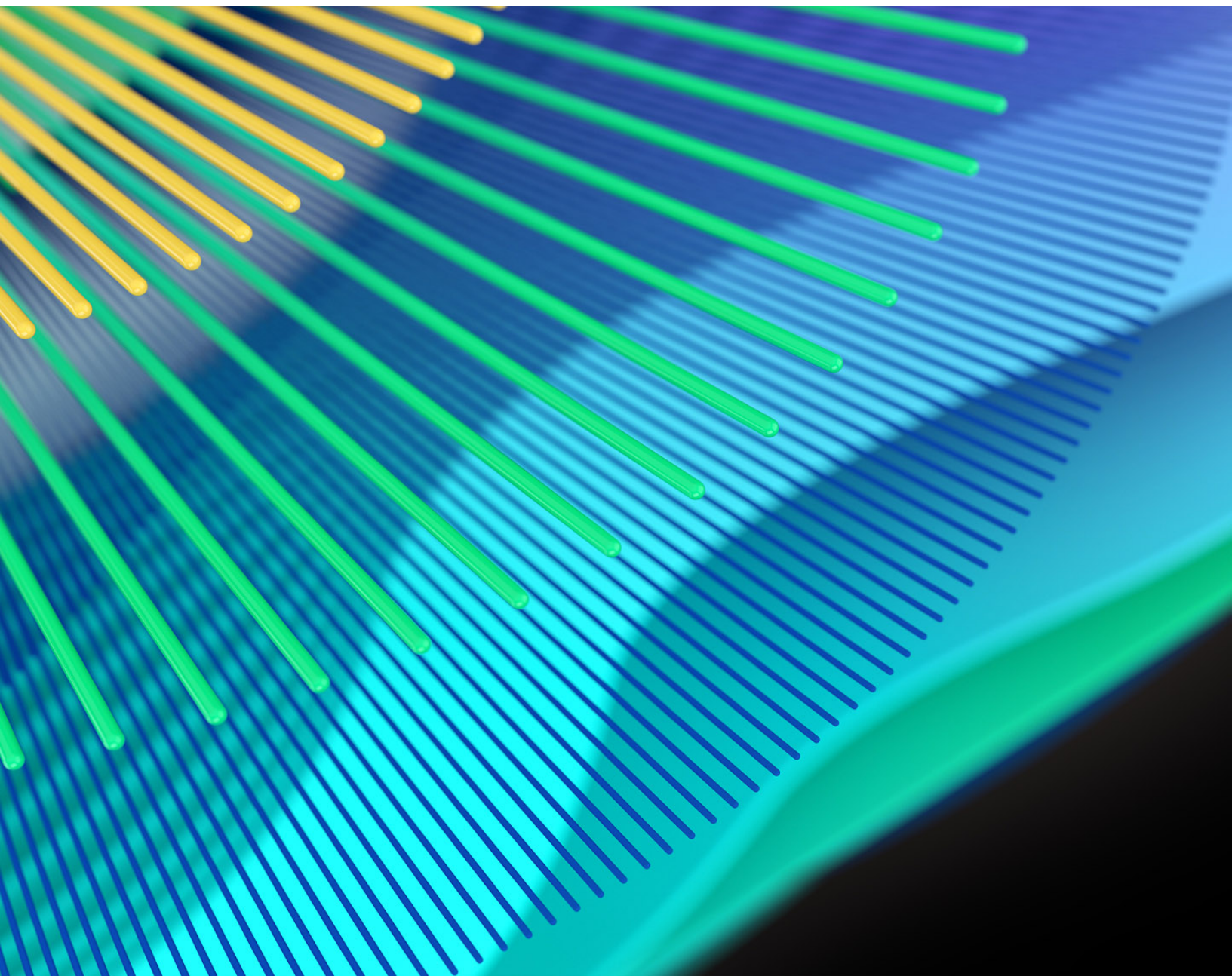


ScholarOne Manuscripts リリース ノート

2020 年第 1 四半期リリース



概要

ScholarOne 製品チームはセキュリティ、パフォーマンス、ユーザーエクスペリエンスの継続的な改善に積極的に取り組んでいます。以下では、このリリースにおけるプラットフォームとツールの主な改善、不具合の修正と最適化について説明します。

また、デフォルトの構成値に関する情報と各機能の構成手順も示します。新機能の中には、管理者または ScholarOne の担当者が有効にしなければ使用できない機能もあります。許可や構成に関するご質問は、発行者チームまたは ScholarOne にお問い合わせください。

ワークフローの変更は影響するすべてのユーザーに伝えてください。

このリリースに記載された事項に関するご質問は、ScholarOne 製品サポート (s1help@clarivate.com) にお問い合わせください。

内容

1. 投稿の統合: 取り込みレポートに通知を追加
2. API: getDecisionsCorrespondenceFull を更新
3. RightsLink: OA 契約に関する新しいサポート
4. RightsLink: 公開の優先設定
5. RightsLink: プロモーションコード
6. 転送済み査読の詳細に決定カスタム質問を追加
7. 査読者数の変更をロール別に制限
8. 論文詳細のレイアウトを更新
9. UNSILO: [保留中] アイコン
10. UNSILO: リアルタイム ID を追加
11. 作業履歴にフィルターを追加
12. ユーザーアカウントの統合と廃止通知を有効化
13. 「査読者の接続」を「Web of Science 査読者検索」に更新
14. 投稿のしやすさに関するフィードバック
15. 査読者にとっての使いやすさに関するフィードバック
16. 投稿の統合: 依頼論文ワークフロー

2021 年第 1 四半期リリース更新

1. 投稿の統合: 取り込みレポートに通知を追加

取り込みステータスレポートに「通知」という名前の新しい列が追加され、ポップアップへのリンクが表示されるようになりました。これにより投稿統合クライアントは、取り込みステータスレポートで通知サービスレポートの内容を直接確認できます。

ユーザー

管理者

必要なアクション

アクションは不要です。

詳細と構成

リストされた取り込みの成否に関する通知を ScholarOne がトリガーすると、この列に「表示」と書かれたリンクが追加されます。

このリンクをクリックすると、通知サービスレポートで同じ通知の詳細ポップアップが開き、統計、通知ペイロード、メッセージ配信試行の全レコードが表示されます。

Status	Error Code	Notification	Error Reason
Failure	30	View	Duplicate email address
Success	0	View	
Success	0	View	
Success	0	View	
Success	0	View	
Failure	30	View	Duplicate email address
Failure	30	View	Duplicate email address
Failure	28	View	External Id has been already saved
Failure	-1	View	Unknown error
Failure	-1	View	Unknown error

複数のエンドポイントがある場合、ポップアップが開くと通知はスタックされます。

2. API: getDecisionsCorrespondenceFull を更新

「getDecisionCorrespondenceFull」の一部として、採否通知と著者の回答への添付ファイルの表示が追加されました。

ユーザー

管理者

必要なアクション

アクションは不要です。

詳細と構成

各添付ファイルの以下のフィールドが「getDecisionCorrespondenceFull」の一部として追加されました。

```
"decisionFiles": { "customerFileName": "file_name.pdf"
}

"responseToDecisionFiles": { "customerFileName": "file_name.pdf"
}
```

ファイル情報は以下のように出力されます。

```
<decisionFiles>
  <customerfileName>decisionfile.docx</customerfileName>
  <customerfileName>decisionfile2.docx</customerfileName>
  <customerfileName>decisionfile3.docx</customerfileName>
</decisionFiles>
<decisionSentDate>2020-11-24 05:34:27.423</decisionSentDate>
<decisionSubject>Decision on Manuscript ID 5463-8976</decisionSubject>
<decisionTo>email@email.com</decisionTo>
</decisionletter>
<documentId>123456</documentId>
<documentIdLatest>123457</documentIdLatest>
<documentIdOriginal>12354</documentIdOriginal>
<inputIndex>1</inputIndex>
<responseToDecision>Response to Decision</responseToDecision>
<responseToDecisionFiles>
  <customerFileName>responsestodecisionletter.doc</customerFileName>
  <customerFileName>responsestodecisionletter2.doc</customerFileName>
</responseToDecisionFiles>
```

3. RightsLink: OA 契約に関する新しいサポート

RightsLink Agreement Manager のサポートをさらに追加しました。RightsLink は、論文の投稿時からライフサイクルを通じて利用可能なオープンアクセス（OA）出版の資金提供について、著者に情報を提供できるようになりました。 ScholarOne Manuscript で利用可能な RightsLink の最新情報については、2021 年 1 月 27 日付けの Copyright Clearance Center のプレスリリース（<https://www.copyright.com/news-events/press-releases/>）をご覧ください。

ユーザー

Author

管理者

必要なアクション

構成が必要です。ScholarOne の担当者までお問い合わせください。

詳細と構成

ScholarOne チームが構成します。構成の担当者にご相談ください。

4. RightsLink: 公開の優先設定

出版モデルを RightsLink の [その他] フィールドへマッピングする設定可能オプションが追加されました。 CCC RightstLink 統合のこの更新によって、ハイブリッド型の雑誌は公開の優先設定を投稿者に直接提供できます。

ユーザー

Author

管理者

必要なアクション

構成が必要です。ScholarOne の担当者までお問い合わせください。

詳細と構成

ScholarOne チームが構成します。構成の担当者にご相談ください。

5. RightsLink: プロモーションコード

オープンアクセス投稿のプロセスで、RightsLink のプロモーションコードをサポートする機能が追加されました。この機能では、カスタム質問に対する回答テキストまたは回答名を RightsLink に送信できます。これによって、発行者は必要に応じて、ユーザーに表示された回答とは異なる回答を RightsLink にマッピングすることができます。

この機能強化によるもう一つの付加価値は、プロモーションコードのカスタム質問を、JSON ファイルの「additionalInfo」領域にある構成済みの RightsLink データフィールドに直接送信できることです。

ユーザー

Author

管理者

必要なアクション

構成が必要です。ScholarOne の担当者までお問い合わせください。

詳細と構成

ScholarOne チームが構成します。構成の担当者にご相談ください。

6. 転送済み査読の詳細に決定カスタム質問を追加

転送済み査読の詳細の [査読の詳細を見る] ポップアップに、[決定カスタム質問] という新しいセクションが追加されました。これにより編集者は、受け取り側サイトの転送済みの論文から転送前の決定カスタム質問への回答を表示できます。

ユーザー

編集者

管理者

必要なアクション

アクションは不要です。

詳細と構成

ScholarOne のサイト間で論文が転送されると、受け取り側サイトの転送の作業履歴レコードに、[転送済み査読の詳細の表示] というリンクが追加されます。送り側サイトから決定カスタム質問に提供された回答が、[転送済み査読の詳細の表示] のリンクから確認できる転送データに含まれるようになりました。

転送論文で決定カスタム質問を表示できる場合は、読み取り専用形式で表示されます。表示できる決定カスタム質問が転送論文にない場合は、[カスタム質問の回答が入力されていません] というメッセージが表示されます。

改訂履歴					
	論文 ID	論文タイトル	投稿日	採否通知 / 著者回答	移動
表示中▶	未提出	Example Submission Title	未提出		
	WRK4-2021-0001	Example Submission Title 転送済み査読の詳細の表示	2021-3-10	2021-3-11 に S1M スーパー雑誌マスター から譲渡されました。	

7. 査読者数の変更をロール別に制限

誰が必要な査読者数を減らせるかをロール別に制限する機能が追加されました。これによって、論文に対して最小数の査読が行われるよう、雑誌の制御機能が強化されます。

ユーザー

編集者

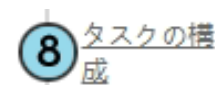
管理者

必要なアクション

アクションは不要です。

詳細と構成

1. クライアント構成センターの [タスクの構成] に移動します。
2. スコアタスクの横の [編集] アイコンをクリックします。



査読者スコア - 副編集者 / 査読者	7	査読者スコア待ち ☒ 期限を超過している実行者の表示 ☒ ハイパーリンクされた名前	査読者スコア待ち ☐ 期限を超過している実行者の表示 ☐ ハイパーリンクされた名前	デフォルト: ☒ 000 - S1M 査読者スコアシート スコアシートの編集
---------------------	---	---	---	---

3. 新しいセクションで、論文の査読数を最小しきい値より下に減らせるルールを指定できます。必要な査読数を減らす権限を制限するには、チェックマークをオフにしてから [保存] ボタンをクリックします。

必要な査読数を減らす権限のないユーザーは、査読数を増やした後で再度減らすことはできますが、最小しきい値より少なくすることはできません。

以下の例では副編集者は、必要な査読数を 3 から 5 に増やし、その後 3 に戻すことは可能ですが、3 より下にはすることはできません。

3	論文をワークフローの次の手順に進める前に必要な査読の数
論文に必要な査読数を減らすことができるロール:	
☐	副編集者
☐	表示センター
☒	編集長
☒	管理者

8. 論文詳細のレイアウトを更新

論文詳細ウィジェットがあるのと同じ画面に論文プルーフが追加されました。時間節約になるこの更新により、編集者はテクニカルチェックと一緒に論文を表示できます。論文詳細に関する詳細情報と、これによって編集者が 1 年間に何時間も節約できる仕組みについては、ScholarOne Manuscripts の担当者にお問い合わせください。論文詳細に関する詳細は、4.22 リリースノート (<https://clarivate.com/webofsciencegroup/support/scholarone-manuscripts/release-notes/>) に掲載されています。

ユーザー

編集者

管理者

必要なアクション

UNSILO との契約以外の場合は構成は必要ありません。詳細については ScholarOne の担当者までお問い合わせください。

詳細と構成

- ・ 雑誌がすでに論文詳細に登録されている場合は、他に構成は必要ありません。
- ・ 論文プルーフが [論文詳細] ページに表示されるようになりました。テクニカルチェックウィジェットは論文の左側にあります。
- ・ テクニカルチェックを展開するには、テクニカルチェックの名前をクリックしてください。
- ・ 表示から論文プルーフを削除するには、[プルーフ] の右側にある二重矢印アイコンをクリックします。

文書分析（ベータ）

印刷

ID WRK4-2021-0002
タイトル "Example Submission Title"

一致するジャーナルの上位 5

テクニカルチェック 2 Powered by UNSILO

重要なステートメントの評価 4 Powered by UNSILO

トピックの評価 5 Powered by UNSILO

論文プルーフ

1 / 41

Example Submission Title

Journal:	S2M Super Journal Master
Manuscript ID:	WRK4-2021-0002
Manuscript Type:	Original Article
Date Submitted by the Author:	10-Mar-2021
Complete List of Authors:	Yang, Lei, AAA,
Keywords:	Keyword 1

SCHOLARONE[®]
Manuscripts

- ・ [論文詳細] ページに論文プルーフをもう一度表示するには、下の画面に矢印で示した同じアイコンをクリックしてください。

文書分析（ベータ）

ID WRK4-2021-0002
タイトル "Example Submission Title"

印刷

一致するジャーナルの上位

1. ACTA CRYSTALLOGRAPHICA SECTION E-CRYSTALLOGRAPHIC COMMUNICATIONS

全体的な一致のスコア: 0.32

ISSN: 2056-9890

サイト: <http://journals.lucr.org/e/>

関連用語とスコア
利用できる結果はありません。

2. INTERNATIONAL JOURNAL OF ENVIRONMENTAL RESEARCH AND PUBLIC HEALTH

全体的な一致のスコア: 0.18

ISSN: 1660-4601

サイト: <http://www.mdpi.com/journal/ijerph>

関連用語とスコア
利用できる結果はありません。

テクニカルチェック

▲ 2 検証には注意が必要です

- ✓ **Disclose any potential Conflict of Interest**
1 relevant statement found
[形跡](#)
- ✓ **Include an Ethics Statement**
3 ethics statements found
[形跡](#)
- ✓ **Include a funding statement**
2 funding statements found
[形跡](#)
- ✓ **Data access statement**
1 data access statement found
[形跡](#)
- ✓ **Author Keywords**
3 keywords found
[形跡](#)

Powered by **UNSILO**

重要なステートメントの評価

The results showed ectopic p53 expression greatly decreased NTCP promoter activity in all five cell lines tested.
[良い](#) | [OK](#) | [不良](#)

The cyclin D1 down-regulating NTCP expression is p53-dependent, while p53 transcriptionally down-regulates NTCP expression via directly binding to its promoter.
[良い](#) | [OK](#) | [不良](#)

Arresting HepG2-NTCP-tet on cells in G0/G1 phase greatly up-regulates cell membrane expression of NTCP, and thus facilitates HBV infection.
[良い](#) | [OK](#) | [不良](#)

The down-regulated NTCP expression in proliferating hepatocytes is mediated by p53, cyclin D1 and SKP2.
[良い](#) | [OK](#) | [不良](#)

These results strongly suggested that proliferating hepatocytes may resist to HBV infection due to the low expression level of NTCP.
[良い](#) | [OK](#) | [不良](#)

上記のキーセンテンスが見つかりませんで

提出

Powered by **UNSILO**

9. UNSILO: [保留中] アイコン

証拠の生成がまだ保留中であることを示すアイコンが追加されました。UNSILO テクニカルチェックのための証拠レポートがまだ生成されていない場合、レポートがまだ保留中であることを示す新しいアイコンが表示されます。

ユーザー

編集者

管理者

必要なアクション

アクションは不要です。

詳細と構成

- UNSILO で情報を処理中の場合は、灰色の感嘆符アイコンが表示されます。

- ・ 処理が終了すると、ユーザーは [証拠] リンクをクリックして UNSILO へ移動し、情報を表示することができます。

文書分析（ベータ）

印刷

ID: WRK4-2021-0002
タイトル: "Example Submission Title"

一致するジャーナルの上位 5

テクニカルチェック 2 Powered by UNSILO

2 検証には注意が必要です

Word count was provided
Word count provided: 5779

Abstract length
Abstract length exceeds the norm of 250 words by 1 words

Title length
The title contains 22 words and 173 characters

Clinical Trial IDs
No IDs detected

Citations in abstract
No citations found in abstract

重要なステートメントの評価 Powered by UNSILO

トピックの評価 Powered by UNSILO

論文グループ

1 / 41

Example Submission Title

Journal:	SIW Super Journal Master
Manuscript ID:	WRK4-2021-0002
Manuscript Type:	Original Article
Date Submitted by the Author:	10-Mar-2021
Complete List of Authors:	Yano, LK, AAA
Keywords:	Keyword 1

SCHOLARONE[®] Manuscripts

10. UNSILO: リアルタイム ID を追加

各テクニカルウィジェットの UNSILO ロゴに ID を追加し、結果について製品サポートと話し合うときに使用できるようにしました。

ユーザー

編集者

管理者

必要なアクション

アクションは不要です。

詳細と構成

- ・ [Powered by UNSILO] ロゴに、各テクニカルチェックウィジェット用の ID が表示されるようになりました。



- ・ これをクリックすると、ID がクリップボードにコピーされたことを確認するメッセージがユーザーに送信されます。
- ・ ID は「*realtime-ae1234ce-5bec-67fa-89e0-3a000a18bf46*」のような形式になります。

これらの結果の UNSILO リアルタイム ID がクリップボードにコピーされました。
UNSILO サポートにお問い合わせの際は、この ID を参照してください。

11. 作業履歴にフィルターを追加

アイデアプラットフォームに寄せられたアイデアに応え、ScholarOne Manuscripts の作業履歴に [イベント] フィルターが追加され、便利になりました。

ユーザー

編集者

管理者

必要なアクション

アクションは不要です。

詳細と構成

- ・ [作業履歴] ヘッダーに [イベントのみ] フィルターが追加されました。
- ・ これをクリックすると、作業履歴の連絡がフィルタリングされ、論文に関連するイベントのみが表示されます。

作業履歴 - 表示 全て表示 / イベントのみ / E-Mailのみ表示			履歴: 1-5 / 5
日付 / 時刻	履歴	論文ステータス	
2021-3-10 23:07 EST	 To: yanglei06@beyondsoft.com From: qa-mc@mailinator.com		

12. ユーザーアカウントの統合と廃止通知を有効化

ScholarOne Manuscripts のすべてのサイトで「ユーザーアカウントの統合と廃止通知」が有効になりました。 この有効化により、ScholarOne Manuscripts のすべての雑誌のユーザーへのセキュリティが強化されました。

ユーザー

管理者

必要なアクション

アクションは不要です。

詳細と構成

すべての雑誌で [システム E-Mail] の [ユーザーアカウントの統合と廃止通知] が有効になります。

アカウントの統合通知 - プライマリアカウント以外宛 - テンプレートの追加						
User Accounts Merged Away Notification	☐	☐	☐		☐	04-June-2014

13. 「査読者の接続」を「Web of Science 査読者検索」に更新

「Publons 査読者の接続」の呼び名が「Web of Science 査読者検索」に更新されました。Web of Science™ は世界でもきわめて信頼性が高く、発行者に依存しないサイテーションインデックスデータベースです。この新しい製品名には、1,000 万人を超える著者と Web of Science™ の関連出版履歴に基づいて査読報告が引用およびマッチングされていることが表されています。

名前の刷新は Web of Science 査読者検索の継続的な改善の一部にすぎません。今後の機能強化では、Web インターフェースのリニューアルと、AI 検索アルゴリズムの継続的な改良が行われる予定です。

ユーザー

編集者

管理者

必要なアクション

アクションは不要です。

詳細と構成

- 「Publons 査読者の接続」が「Web of Science 査読者検索」として新しくなりました。ScholarOne 査読者検索のインスタンスも、Web of Science 査読者検索にアップグレードされました。
- ScholarOne ワークフロー内の検索ツールヘッダーが、[Publons 査読者の接続] から [Web of Science 査読者検索] へ変更されました。
- ScholarOne からアクセスしていた [Publons 査読者の接続] のリンク先が、新しい Web インターフェースに置き換わりました。

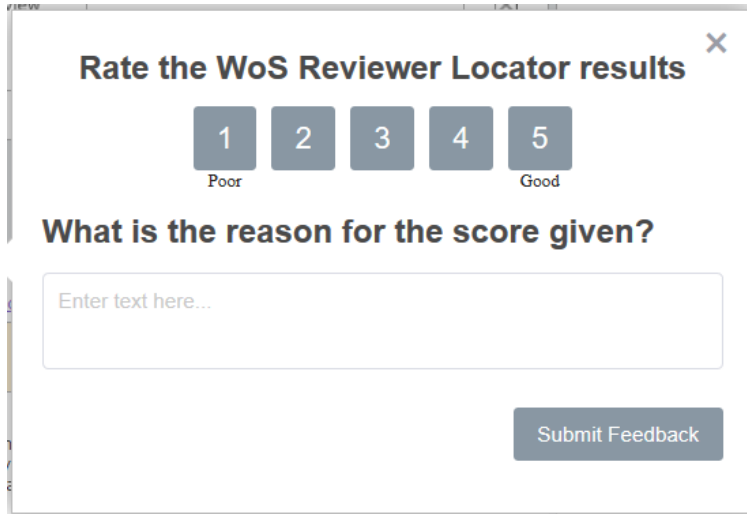
Web of Science™ Reviewer Locator ?

Search 5 Years of Publications

[View full interactive search on reviewerlocator.webofscience.com](#)

Potential Reviewer Details	Current / Past 12 Months	Days Since Last Review	Average R- Score	Add
Claire I. Vate claire.i.vate@clarivate.com Web of Science, Philadelphia Pennsylvania, USA Verified reviews in Web of Science: 49 Articles in Web of Science: 105 Most Relevant Works: • Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit, sed do eiusmod tempor incididunt ut labore et dolore magna aliqua. view details • Nemo enim ipsam voluptatem quia voluptas sit aspernatur aut odit aut fugit, sed quia consequuntur view details • Ut enim ad minima veniam, quis nostrum exercitationem ullam corporis suscipit view details + Add				

- ・ ユーザーはツールヘッダーにある  アイコンをクリックすると、結果のフィードバックを製品内で直接送信できるようになります。



14. 投稿のしやすさに関するフィードバック

[投稿の確認] ページに投稿のしやすさに関するフィードバック機能が追加されました。

ユーザー

著者

必要なアクション

アクションは不要です。

詳細と構成

[投稿の確認] ページで、ユーザーは ScholarOne 製品チームにフィードバックを直接送信できるようになりました。

Submission Confirmation

Thank you for your submission

Submitted to

PM - Usability

Manuscript ID

WRK4-2021-0004

Title

Test

Authors

Moller, Sven

Date Submitted

23-Feb-2021

Payment Method

Waived
23-Feb-2021

Author Dashboard >

Help us improve ScholarOne^x

How would you rate the submission experience?*

1

2

3

4

5

Difficult

Easy

How can we improve?

Tell us about your experience here...

Submit

*Your feedback is sent directly to the ScholarOne Product Management team. Support requests should be directed to support using Help in the upper right.

Print

15. 査読者にとっての使いやすさに関するフィードバック

[投稿済みスコア] 確認ページに、査読者にとっての使いやすさに関するフィードバック機能が追加されました。

ユーザー

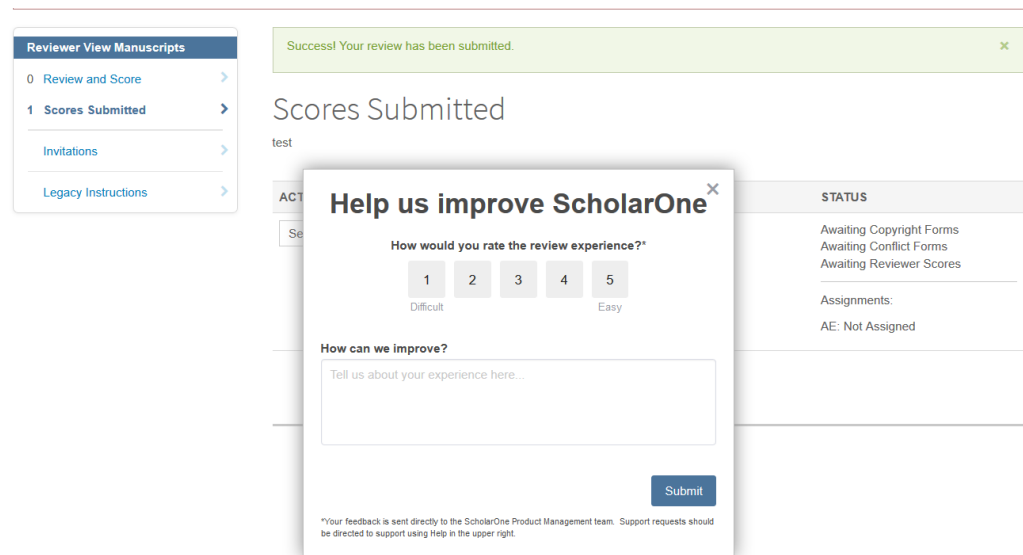
査読者

必要なアクション

アクションは不要です。

詳細と構成

[投稿済みスコア] ページで、ユーザーは ScholarOne 製品チームにフィードバックを直接送信できるようになりました。



16. 投稿の統合: 依頼論文ワークフロー

投稿の統合で依頼論文ワークフローをサポートする最初の機能が追加されます。

ユーザー

管理者

必要なアクション

アクションは不要です。

詳細と構成

詳細は 2021 年に公開予定です。ScholarOne Manuscripts Developer ヘルプページ (<https://clarivate.com/webofsciencegroup/support/scholarone-manuscripts/for-developers/>) で、現在の API と通知構成オプションに関する詳細をご覧ください。

主な問題修正と機能の最適化

備考

ScholarOne では、リリースとリリースの間に多数のパッチとホットフィックスを導入しており、ユーザーがプラットフォームの継続的な改善を実感できるようにしています。その多くは社内チームによるプロセスの最適化を目的としているため、ワークフローには影響しません。これらの変更点についてご質問がある場合は、サポートにお問い合わせください。

- ・ **最終変更日:**
 - アカウントバジのないユーザーの著者履歴を閲覧すると、最終変更日が著者履歴を閲覧した日付に更新されるという問題がありました。この問題は修正され、アカウントバジのないユーザーの著者履歴を閲覧しても、最終更新日は変更されなくなりました。
- ・ **Paypal の支払いの保留**
 - まれに、ユーザーが Paypal で支払おうとすると、支払いが受領されているにもかかわらず、論文が [支払いの保留] ステータスのままになるというエラーが発生することがありました。この問題は解決しました。
- ・ **PDF プルーフの問題**
 - 論文 PDF ファイルと論文 Doc ファイルが PDF プルーフに統合されていた問題が解決しました。2021 年第 1 四半期リリースでは、PDF プルーフは論文 PDF ファイルのみをレンダリングします。
- ・ **ポルトガル語とスペイン語で間違った日付情報が表示される問題**
 - サイト上の場所によって、日付形式が間違っポルトガル語またはスペイン語に切り替えられて表示されていた問題が解決しました。
- ・ **S1 DTD に論文フラグがない問題**
 - 2020 年第 4 四半期リリースでは、記事要素内の論文フラグが S1 DTD から省略されていました。2021 年第 1 四半期リリースでは、論文フラグは DTD 変更メッセージで指定されたとおりに含まれます。
- ・ **Submission Prefill 文書が取り込まれないエラー**
 - 助成機関が 2 回リストされているが助成金番号が 1 つしか表示されない場合に、文書が取り込まれないという問題が解決しました。
- ・ **Submission Prefill の部署名が間違っ取り込まれる問題**
 - 同じ著者の下に複数の部署名が複数ある場合に、部署名が間違っ取り込まれていた問題を修正しました。
- ・ **ユーザー検索が 500 を超えるエラー**
 - ScholarOne のスタッフが検索結果に数えられていた問題を修正しました。

詳細のお問い合わせ先

ScholarOne 製品サポート
s1help@clarivate.com

電話番号: 888 503 1050 (米国) または
0800 328 8044 (英国)
月曜日午前 12:00～金曜日午後 8:30 (東部標準時)

webofsciencegroup.com

Web of Science Group について

Clarivate 社、*Web of Science Group* が管理する世界の研究情報は、研究を加速するために多様な学
界、企業、出版社、政府で利用されています。また、そのために出版社に中立な世界最大のサイ
テーションインデックスとリサーチインテリジェンスのプラットフォームである *Web of Science* が
活用されています。そのほかにも、*Converis*、*EndNote*、*Kopernio*、*Publons*、*ScholarOne*、*Institute
for Scientific Information (ISI)* などの有名ブランドを提供しています。Web of Science Group の「大
学」である ISI はインデックス、関連情報、分析コンテンツ、サービスを構築する基盤となるナレッ
ジコーパスを管理し、イベント、会議、出版物を通して外部にその知識を広め、調査を実施してナ
レッジベースの維持、拡張、改善に努めています。詳細については webofsciencegroup.com をご覧
ください。

© 2019 Clarivate. All rights reserved. Clarivate の書面による事前の同意なしに、Clarivate のコンテンツ
を再発行や再配布すること（フレーミングまたは類似の方法による場合を含む）は禁止されていま
す。Web of Science Group とそのロゴ、および本文書で使用されている他のすべての商標はそれぞ
れの所有者の商標であり、ライセンスに基づいて使用されています。